

ベネッセの教育分野における生成 AI 活用

教育サービス向け機能の最新動向（2024–2026 年）

2026 年 5 月

Claude Opus 4.8

要旨

ベネッセは 2023 年夏の「自由研究おたすけ AI」を起点に、2024 年「チャレンジ AI 学習コーチ」^{1,2,3}・「AI しまじろう」¹⁴、2025 年「進研ゼミ√Route 大学受験」^{7,9}、2026 年新「進研ゼミ高校講座」（AI 質問しまじろう・ビジュアル解説）^{10,11}へと、教育プロダクトへの生成 AI 搭載を段階的に拡大してきた。一貫した方針は「答えを直接教えず思考を促す」設計と、子どもの安全性に配慮した独自カスタマイズである。

中核となる教育サービス向け生成 AI 機能は、質問対応（チャレンジ AI 学習コーチ/AI 質問しまじろう）、対話型・思考力育成（√Route の AI セルフトークラーニング）、図解生成（ビジュアル解説）、幼児の会話育成（AI しまじろう）、社会人向け（Udemy の AI 機能）に整理できる^{13,16,17}。安全設計（保護者同意・回数制限・Azure OpenAI で再学習なし）と、進研ゼミ 55～56 年分の指導データ活用、外部 LLM との連携+独自 UI 開発が共通の特徴であり、各種の表彰を獲得している。

1. 進研ゼミ小学・中学講座：チャレンジ AI 学習コーチ（2024 年～）

内容：小学 4 年～中学 3 年生の進研ゼミ会員を対象に、教科の疑問や学習法をいつでもチャット形式で質問できるサービスで、受講費内で利用できる^{1,2}。小学生向けは「いつでも質問チャット」、中学生向けは「スピード疑問解消チャット」と呼ばれる。

特徴：「答えを直接教えない」設計を採り、子どもが「何がわからないか」を言語化できるよう AI が原因を予測して対話で掘り下げる^{2,3}。褒め・励まして質問のハードルを下げ、AI で解決しない場合は教科アドバイザー（人）に連携する。

技術・安全設計：OpenAI の「ChatGPT（GPT）」を活用し、UI はベネッセが独自開発した^{2,16}。初期状態では生成 AI はオフで、保護者同意後に「AI チャットモード」が有効化される。NG ワード設定、入力内容の再学習なし、1 日・1 か月の利用回数制限を設けている。

提供時期：2024年2月2日発表、中学講座／中高一貫は3月20日、小学講座は3月25日（各4月号）から提供開始した^{1,2}。

受賞：第21回日本 e-Learning 大賞「生成 AI 特別部門賞」（2024年10月）^{4,5}、第42回 IT 賞「IT 賞（顧客・事業機能領域）」（2024年12月）を受賞した⁶。

2. 進研ゼミ√Route 大学受験（2025年3月～）

内容：志望大学別演習と生成 AI による対話型学習を組み合わせた、大学受験向けの完全デジタル学習サービス^{7,8}。7教科24科目（情報 I 含む）が無学年式で学び放題で、約500冊の参考書・問題集、約5,000本の解説動画の電子ライブラリーを備える。

AI セルフトークラーニング（特許出願中）：合否を分ける重要問題を解いた後、AI 講師が「解答プロセスの振り返り」「解法の根拠の確認」「条件や視点を変えた応用力の確認」の3段階の質問を投げかけ、学習者が自己説明することでメタ認知を高め本質的理解へ導く^{7,9}。教材の演習問題のうち約15%に同機能を搭載し、AI からの問いかけに音声入力で答える形式をとる。

AI ストローク分析：京都大学学術情報メディアセンターの緒方広明教授との共同研究により、答案作成途中の「つまずき方」「迷い」まで可視化し、解き方に合わせた個別指導を行う⁹。

料金・提供時期：2025年2月25日発表、3月3日提供開始。全教科プラン月額7,980円（税込）、1教科プラン3,980円で、初回14日間無料^{7,8}。従来の紙併用「進研ゼミ高校講座」は新高2会員が卒業する2027年3月末まで継続し、高校生向けは完全デジタル化の方針とされる。

3. 新「進研ゼミ 高校講座」（2026年3月～）：約10年ぶりの大規模リニューアル

コンセプト：「テスパ（テストパフォーマンス）神」。総合型・学校推薦型選抜の拡大で内申点重視が進む中、定期テストの成績を短時間で効率的に上げることに重点を置く^{10,11}。

AI 質問「しまじろう」：「わからない」問題を撮影・送信すると、56年培われた進研ゼミの教育ノウハウを読み込んだ独自生成 AI が24時間解説する¹⁰。17歳になった「しまじろう」がチューター役として登場し、まずヒントを提示、ステップ解説、類題・動画提案で理解から定着まで支援する。問題解析は数秒～20秒程度。

ビジュアル解説：一部の問題で、問題を読み込みその場で図・グラフを生成 AI が新規生成して

図解する。ベネッセは家庭学習用の教育アプリにおいて当該問題の解答解説に適した図を作成する技術として「日本初」と標榜している（自社調べ、特許出願中）^{10,11}。

AI 性能（自社 AI の数値）：ベネッセのプレスリリースによれば、独自 AI は共通テスト 9 教科で満点を達成し、全体の得点率は 98.3% を記録したとされる¹⁰。

受賞：ビジュアル解説機能が 2025 年 10 月末の Google Cloud 主催「第 4 回 生成 AI Innovation Awards」で最優秀賞を受賞した^{11,12}。受賞理由は、生成 AI が図・グラフを既存画像から参照するのではなく、その場で生成し解説に活用する点にある。

料金・提供時期：2026 年 3 月 24 日発表、3 月 25 日提供開始。7 教科 24 科目学び放題で月額 9,980 円（税込）¹⁰。

4. 新「進研ゼミ 小学講座」（2026 年 3 月～）

人×AI=赤ペン先生のアバター化：タブレット学習「チャレンジタッチ」を 2026 年度 4 月号から大規模リニューアルし、約 4.2 億枚の添削答案データを分析して赤ペン先生の「褒め」「認め」コメントをデジタル実装する¹³。学力・学習状況・性格タイプに合わせ、担任の「赤ペン先生」アバターが 365 日タイムリーに声かけ・指導し、今後 AI による最適化を進める方針である。月末の「まとめテスト」は引き続き人の赤ペン先生が担当する。

5. こどもちゃれんじ：AI しまじろう（2024 年～、研究開発・モニター提供）

内容：生成 AI を搭載した幼児向け会話型サービスで、専用スマホアプリと専用しまじろうぬいぐるみで使用する¹⁴。自由に会話できる「おしゃべり」機能、一人で取り組める「あそび」機能、日本語・英語対応、会話から見えた子どもの興味・感情を AI が分析し保護者にレポートする機能を備える。

開発体制・提供形態：ベネッセとソフトバンクロボティクスの共同開発で、こどもちゃれんじ 35 年のノウハウで生成 AI を独自カスタマイズした¹⁴。2024 年 2 月 27 日発表、研究開発という位置づけで、こどもちゃれんじ年少講座「ほっぷ」2024 年 4 月号受講者から抽選 1 万名に無料モニター提供された。第 42 回 IT 賞「IT 奨励賞」を受賞している。

6. 自由研究おたすけ AI（2023 年～）

内容：小学生親子向けに、夏休みの自由研究のテーマ決めを AI キャラクター「ラボリー」との対話で支援する生成 AI サービスで、1 つの答えを出さず多様な観点でヒントを提示し子ども自身の思考を促す¹⁵。

安全設計：年齢制限のない Microsoft「Azure OpenAI Service」をベースに、入力内容を再学習に利用しない方式とした¹⁵。保護者のログイン、情報リテラシー動画の親子視聴、質問は 1 日 10 回まで、回答の文字数制限（約 200 字）、読書感想文生成などの目的外利用への非対応などの配慮を行った。

実績：2023 年 7 月 25 日～9 月 11 日に無償で β 版を提供。開発担当者は、限られた期間でリリースでき、利用者の 8 割超が役立ったと回答した点を成果として挙げている¹⁵。テレビ 30 番組以上・新聞 100 件以上・Web メディア 800 件超で報道された。

7. Udemy（社会人向け、2025 年～）

内容：米 Udemy 社が運営するオンライン学習プラットフォームで、ベネッセが 2015 年より日本で独占業務提携している¹⁷。

- **AI アシスタント：**講座内の疑問に AI が回答（概念説明・要約・コード例等）。2025 年 4 月実装、世界で累計 400 万件以上利用。¹⁷
- **AI スキルマッピング：**必要スキルに応じて AI が学習計画を提案。2025 年 4 月実装。
- **AI ロールプレイ：**営業商談・1on1・プレゼン等の実務シーンを AI キャラ相手に模擬体験し、終了後に即時フィードバックを得る会話型コーチング。英語講座向けに 2025 年 5 月末、日本語講座は 2025 年 9 月対応。

あわせて 2025 年 9 月に、個人向け定額制プラン（月額 2,292 円で約 2 万 9000 講座が視聴可能）を正式提供した。

8. 方針・ロードマップ

共通方針：ベネッセの生成 AI 活用には、①「答えを直接教えず思考を促す」設計、②子どもの安全性への配慮（保護者同意・回数制限・再学習なし・NG ワード）、③進研ゼミ 55～56 年の指導データ・「教師データ」の活用、④外部 LLM（ChatGPT/Azure OpenAI）との連携+独

自 UI・独自カスタマイズ、⑤「人のぬくもり」（赤ペン先生・教科アドバイザー）と AI の融合という共通項がある^{11,15,16}。

経営層の発言：2024 年 12 月の記者会見では約 2 年間の実践知見を発信し、全国の高校向け進路支援や英語学習支援「GELP」の展開方針を表明した^{6,18}。2026 年 3 月のリニューアル記者発表会では、約 55 年・延べ 920 万人の会員と、質の高い「教師データ」の活用、人のぬくもりと最新テクノロジーの融合、安心・安全な AI 環境を強みとして強調した。

今後：中学講座のリニューアルを検討中で、高校生向け進研ゼミは完全デジタル化の方針である^{10,13}。

留意点

- 「生成 AI」と「最適化 AI」の区別：AI テспа機能、AI 問題演習、AI StLike、AI 国語算数トレーニングは機械学習・最適化型 AI であり、生成 AI (LLM) とは技術系統が異なる。¹⁹
- 自社調べの数値：「ビジュアル解説は日本初」「共通テスト 9 教科満点・得点率 98.3%」はいずれもベネッセ自社調べ・自社 AI の数値であり、第三者検証ではない。
- AI しまじろうの商品化状況：モニター提供段階であり、正式商品化を示す一次情報は本調査時点（2026 年 5 月）で未確認。
- 使用 LLM：チャレンジ AI 学習コーチ・自由研究おたすけ AI は ChatGPT/Azure OpenAI と公表されているが、√Route・ビジュアル解説等は具体的 LLM 名が非公表。

参考文献

※本文中の上付き番号は、以下の番号付き文献に対応する。最終アクセス：2026年5月。

- [1] 「進研ゼミ」が生成 AI 活用の新サービス「チャレンジ AI 学習コーチ」を3月下旬から提供開始。ベネッセ プレスリリース (PR TIMES) .
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001239.000000120.html>
- [2] AI を活用して学ぶ力を育成する、ベネッセが「チャレンジ AI 学習コーチ」を3月20日より提供開始。こどもと IT (Impress Watch) .
<https://edu.watch.impress.co.jp/docs/news/1565952.html>
- [3] 進研ゼミ、生成 AI 活用の新サービス「チャレンジ AI 学習コーチ」を提供開始。Aismiley. https://aismiley.co.jp/ai_news/shinkenzemi-generative-ai-learningcoach/
- [4] 生成 AI を用いた進研ゼミの学習サービスが日本 e-Learning 大賞を受賞。サードニュース (3rd-in) . <https://news.3rd-in.co.jp/article/fla54e08-95ef-11ef-94b3-9ca3ba083d71>
- [5] AI が学びの疑問を解決、進研ゼミ「チャレンジ AI 学習コーチ」が日本 e-Learning 大賞を受賞。こどもと IT (Impress Watch) .
<https://edu.watch.impress.co.jp/docs/news/1635389.html>
- [6] 教育：2024年アーカイブ (ニュースリリース) . ベネッセホールディングス.
<https://blog.benesse.ne.jp/bh/ja/news/education/2024/>
- [7] 進研ゼミ、生成 AI 活用の対話型学習サービス開始…「誰でも難関大学受験を挑める環境」を提供。リセママ (Resemom) . <https://resemom.jp/article/2025/02/25/80964.html>
- [8] ベネッセ、大学受験向けデジタル通信講座「進研ゼミ√Route」3月3日開始。ICT 教育ニュース. <https://ict-eneews.net/2025/02/26benesse-13/>
- [9] 思考力を鍛える「対話型学習」を生成 AI で実現「難関合格 進研ゼミ√Route 大学受験」を提供開始。ベネッセコーポレーション ニュースリリース.
https://blog.benesse.ne.jp/bh/ja/news/bc/education/2025/02/25_6129.html
- [10] 新「進研ゼミ 高校講座」、3月25日より提供開始 家庭学習向け生成 AI 活用アプリで日本初「ビジュアル解説」搭載。ベネッセコーポレーション プレスリリース (PR TIMES) . <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001448.000000120.html>
- [11] ベネッセ、進研ゼミを10年ぶりに大幅リニューアル 日本初となる生成 AI 活用アプリ。電波タイムズ. <https://www.dempa-times.co.jp/event-report/46555/>
- [12] 進研ゼミ高校講座 編集室 公式 X (生成 AI Innovation Awards 最優秀賞受賞の告知) . X (旧 Twitter) . https://x.com/kzemi_henshu/status/1983792763570418150

- [13] 進研ゼミが進化 小学講座は「褒めて伸ばす AI」、高校講座は「定期テスト対策 AI」を活用。こどもと IT / Yahoo!ニュース。
<https://news.yahoo.co.jp/articles/ce76c39368251790055e493c0f299ff83cb0254e>
- [14] ベネッセ×ソフトバンクロボティクス共同開発 生成 AI 搭載 幼児向け会話型サービス AI 「しまじろう」が第 42 回 IT 賞において IT 奨励賞を受賞。月刊私塾界。
<https://www.shijyukukai.jp/2024/12/27257>
- [15] ベネッセが生成 AI で小学生の自由研究を支援、目指すは親子と「3 人での対話」。日経クロステック。
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/08244/>
- [16] 注目の生成 AI を自社プロダクトに導入 子どもの期待に技術で応え続ける（ベネッセの DX 戦略）。ベネッセコーポレーション。
https://www.benesse.co.jp/digital/casestudy/casestudy_31/
- [17] Udemy AI アシスタントへのアクセス方法と使用方法。Udemy サポート。
<https://support.udemy.com/hc/en-us/articles/27554487131671-How-to-Access-and-Use-the-Udemy-AI-Assistant>
- [18] GELP（ジェルピー） | 英語 4 技能学習のベストパートナー。ベネッセコーポレーション。
<https://www.benesse.co.jp/gtec/gelp/>
- [19] スマホで学習「AI StLike」個別弱点攻略 AI | 進研ゼミ高校講座。ベネッセコーポレーション。
<https://kou.benesse.co.jp/lp/AIStLike/>